

体験シート記入例

解説を加え、体験シートの記入例を示しました。

決算書が出来たら、1年後の変化を見てみましょう。

はじめる前に

- * A法人の複式簿記を体験します。
- * 事業期間は、1/1～12/31です。
- * 単位は全て万円です。

現金は左、
資本は右で
金額を記入
します

貸借対照表			
現金	300	資本	300

事業開始

1/1 現金300万円を資本金として法人Aを設立した。

- 記帳のルールは3つです
- * (借方) (貸方) に、取引の科目名を入れる
 - * (借方) (貸方) の両方に、同額を記入
 - * (借方) (貸方) は、プラス・マイナスの関係

取引

経営上の取引例です

- 2/2 現金100万円を借り入れた。
- 3/3 大農具を現金200万円で購入した。
- 4/4 肥料費として現金50万円を支出した。
- 5/5 農薬費として現金40万円を支出した。
- 6/6 雇人費として現金90万円を支出した。
- 7/7 農産物を売り上げ、現金120万円を受け取った。
- 8/8 農産物を売り上げ、代金130万円は掛け(売掛金)とした。
- 9/9 8/8の売掛金を現金で回収した。
- 10/10 現金120万円を預金した。

取引を記帳します

月日	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
2/2	現金	100	借入金	100
3/3	大農具	200	現金	200
4/4	肥料費	50	現金	50
5/5	農薬費	40	現金	40
6/6	雇人費	90	現金	90
7/7	現金	120	売上	120
8/8	売掛金	130	売上	130
9/9	現金	130	売掛金	130
10/10	預金	120	現金	120
12/31	減価償却費	20	大農具	20

年度末に整理するものを記帳します

決算整理

12/31 大農具の減価償却費を20万円分計上した。

- * (借方) (貸方) に分けるワンポイント
- 手許の現金が増えれば左(借方)に現金
- 手許の現金が減れば右(貸方)に現金

試算表の作成
清算表の作成

* この体験シートは、複式簿記の基本要素を把握してもらうため簡略化しています。
実際の記帳にあたっては、正規の簿記による記帳を行ってください。

決算書

損益計算書			
肥料費	50	売上	250
農薬費	40		
雇人費	90		
減価償却費	20		
利益	50		

貸借対照表			
現金	150	借入金	100
預金	120	資本	350
大農具	180		

* 左右の金額差が資本となる

* 左右の金額差が利益(または損失)となる

勘定科目毎の残高が決算書に反映されます

元帳

現金		肥料費		借入金	
1/1 300	3/3 200	4/4 50			2/2 100
2/2 100	4/4 50				
7/7 120	5/5 40				
9/9 130	6/6 90				
	10/10 120				
預金		農薬費		売上	
10/10 120		5/5 40			7/7 120
					8/8 130
大農具		雇人費			
3/3 200	12/31 20	6/6 90			
売掛金		減価償却費			
8/8 130	9/9 130	12/31 20			

* 左右の差額が残高になる

勘定科目毎に元帳へ転記します

決算整理の仕訳を転記します

